

令和2年度「我が国における地球観測の実施計画」(案)  
集計概要

(1) 合計登録数: 428 件(うち再掲 272 件)

(2) 省庁等別の登録数(件)

総務省	37(うち再掲 20)	国土交通省	3(うち再掲 0)
文部科学省	193(うち再掲 152)	国土地理院	8(うち再掲 0)
農林水産省	12(うち再掲 0)	気象庁	78(うち再掲 50)
林野庁	2(うち再掲 0)	海上保安庁	11(うち再掲 1)
水産庁	5(うち再掲 2)	環境省	60(うち再掲 34)
経済産業省	19(うち再掲 13)		

(3) 「項目の種別(観測、機器開発、データ利用研究、その他)」登録数の推移(件)

	平成 30 年度	令和元年度	令和2年度
全体(再掲を含む)	467	432	428
全体(再掲を除く)	193	156	156
観測	125	109	108
機器開発	55	46	47
データ利用研究	131	100	102
その他	16	17	16

※1 事業で複数項目がある場合はそれぞれの項目で計上

(4) 「観測手段」登録数の推移(件)

	全体(再掲を除く)		
	平成 30 年度	令和元年度	令和2年度
衛星	52	47	43
地上	45	57	56
船舶	35	23	21
航空機	11	13	12
その他	26	21	15

※1 事業で複数項目がある場合はそれぞれの項目で計上

(5)実施方針の件数推移 ※()内の件数は令和元年度実績

#### IV章 課題解決型の地球観測

1. 気候変動に伴う悪影響の探知・原因の特定への貢献	
(1)人為的な地球環境の変動の把握への貢献	51件(51件)
(2)気候変動対策の効果把握への貢献	47件(47件)
(3)気候変動の予測精度の向上への貢献	4件(6件)
2. 地球環境の保全と利活用の両立への貢献	
(1)持続可能な海洋の利活用への貢献	19件(19件)
(2)生態系・生物多様性の現状把握と保全への貢献	12件(14件)
(3)森林の現状把握及び変化予測精度の向上への貢献	28件(27件)
3. 災害への備えと対応への貢献	
(1)災害発生の予測・予知への貢献	73件(72件)
(2)発生時の緊急対策と復旧・復興への貢献	15件(15件)
4. 食料及び農林水産物の安定的な確保への貢献	23件(20件)
5. 総合的な水資源管理の実現への貢献	5件(6件)
6. エネルギー及び鉱物資源の安定的な確保への貢献	7件(7件)
7. 健康に暮らせる社会の実現への貢献	17件(18件)
8. 科学の発展への貢献	50件(51件)

#### V章 共通的・基盤的な取組

1. 観測データのアーカイブとデータの統合化・利活用の促進	14件(14件)
2. 分野間の連携、多様なステークホルダーの関与及び人材育成	13件(14件)
3. 長期継続的な地球観測の実施	17件(17件)
4. 地球観測による科学技術イノベーションの推進	14件(15件)
5. 科学技術外交・国際協力への地球観測の貢献	19件(19件)

(6)「今後10年の我が国の地球観測の実施方針」中間取りまとめに関連する施策  
施策数：94件（うち再掲50件）

##### 新規事業の例

- 4-2 課題解決を志向した地球観測インフラの長期性・継続性の確保
  - ・ 気象観測装置の整備（農林水産省）
- 4-4 共通的・基盤的な取組の推進とイノベーションへの貢献
  - ・ 治山技術を途上国で適用する手法の開発に関する研究（林野庁）